

## 激励のことば

二十歳のつどいを迎えられました皆さま、本日はおめでとうございます。

また、今日まで深い愛情を持ってお子様を立派に育て上げてこられたご家族の皆様にも、重ねてお慶び申し上げます。皆さんの門出を祝う記念すべき日に、こうして壇上に立たせていただけることを非常に光栄に思います。

この場にお集まりの皆さん、現在の心境はいかがでしょうか。私も16年前、この大田市で成人式を迎えました。その時には、自分が大人の仲間入りをするということへの期待と不安で非常に落ち着かない、ソワソワした気持ちで式典に参加していたことが、昨日のこのように思い起こされます。その式典の際、今の私と同じように壇上に立ち、お話いただいた方の激励のことばを私は今でも印象深く覚えています。本日その方と同じようにこうして壇上に立たせていただくにあたり、私からの激励として皆さんにも同じ言葉を送らせていただこうと思います。

皆さんは「大人」という言葉の語源についてご存じでしょうか。「大人」とは古くは「うし」「たいじん」と読み、尊敬すべき人に対して使われる敬称であったそうです。その語源からも分かるように、「大人になる」ということは「尊重されるべき一個の個人」として扱われるということ。つまり言い換えるならば、皆さんお一人おひとりが社会の一員として自分の行動に対する社会的責任を自分自身で負わなければならぬ、ということに他なりません。その責任は非常に重く、重大なモノです。この場にお集まりの皆さん全員が、この重大な責任を担っているということ。そのことを確りと自覚しなければなりません。それと同時に、そのような重たい責任を担わなければならないということは、皆さんにはもう一つ、とある権利を獲得しているということでもあります。それは、自分の意志で自分の未来を選択できる「自由」への権利です。自分自身の行動に対して社会的責任を負う覚悟があるのであれば、その

責任の範疇で自由に行動できる権利を、皆さんは持っているのです。

学業や仕事に邁進すること。お酒を飲むこと。煙草を吸うこと。恋人をつくること。家庭を持つこと。趣味にお金を使うこと。ボランティア活動に参加してみることに。海外に行ってみることに。

これらの行動において、他者の権利をみだりに侵さないのであれば、その全ては貴方の責任であり自由な権利なのです。

ここにお集まりの皆さん。どうぞ、この自由への権利を、大いに行使してください。自身の自由な精神を尊重するからこそ、困難に立ち向かう「挑戦への精神」は育まれるのです。

そしてもう一つ、私からの皆さんへご提案をさせていただきます。今日まで皆さんを立派に育て上げてくれたご家族や先生・先輩方。貴方が今までにお世話になった人達に一言、「今までありがとうございます。感謝しています。」と言葉にして伝えてあげてください。

この場に居られます皆さんお一人おひとりが、自らが担うべき責任の大きさを自覚しつつ、それでも自由な精神を忘れない人。そして、他者への慈しみと尊重の念を持ち、報恩感謝の心を忘れない人。そんな、本当の意味で「大きな人」。「大人」として、社会に羽ばたいていただければと思います。

最後になりましたが、皆さんの今後のご活躍を衷心よりご祈念いたしまして、私からの激励のことばとさせていただきます。

ご清聴、誠にありがとうございます。

令和六年一月四日

龍末 崇